

保	育	の	父	・	佐	竹	音	次	郎	に	学	ぶ	会	★	通	信
	音	次	郎	会	◆	I	N	F	O	◆	v	o	l	.	1	7
															別	冊

ホームページ：<http://otojiro.link>

eメール：info@otojiro.link

取引銀行 幡多信用金庫 下田支店 普通預金 88502
 (名義) 保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会 会長 中平菊美
 ゆうちょ銀行 振替口座 01650-8-43162
 (名義) 保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会

【読み物シリーズ 4】

日本一熱い男・音次郎の日本一暑い日

作：瀬戸雅弘

音次郎の命日は8月16日です。日本では「お盆」の時季になりますがキリスト教ではその概念がありませんので音次郎の命日がこの日になったのは摂理でしょう。

8月16日という日にちは不思議な巡り合わせの日で、少年音次郎が愛した故郷竹島の松がその前日に不審火で焼けた日でした。辞世の句に描いた松と音次郎は運命共同体でした。この日は暦の上では立秋も過ぎていますが日本では残暑厳しい時季でもあります。

暑さの話では8月16日といえば日本の最高気温記録を熊谷と多治見で74年ぶりに更新した日です。音次郎の地元四万十市でも日本最高気温記録を2013年から2018年まで保持しました。また2020年8月13日～15日は3日連続で国内最高気温を四万十市で観測しました。熱い男の故郷も暑いのです。

ちなみに74年間も国内最高気温だった場所は意外にも山形で、観測されたのは1933年(昭和8)7月25日のことです。音次郎がまだ保育をしていた時代です！

音次郎は預かった子供も我が子と同様に愛情を注いで育てましたが、日本で長年破られることがなかった暑い夏に、音次郎は子供たちとどう過ごしていたのでしょうか？ 音次郎日誌から手掛かりを見てみましょう。

①暑気、甚シ

音次郎日誌20 昭和8年(1933)に、この様な記述がありました。

「七月七日 金・晴 暑気新京辺・甚シ 在新京」

音次郎日誌は通常、月日、曜日、天気が1行目に、2行目にその日の滞在地が記され、それから日記が綴られます。この日の書き方は異例で、天気の後「暑気^{はなはだ}甚シ」と付け加えられていました。

新京とは満州の首都のことで、このころ音次郎は満州の旅順支部に滞在していましたので出張をした新京周辺が大変暑かったので、思わずその事を書き始めてしまったのでしょう。この1933年7月という時が、日本で長年破られることがなかった最高気温を記録することになった月なのです。

②日誌の中の新聞切り抜き

音次郎日誌の中には新聞切り抜きをはじめ添付文書類が数多く挿入されています。その大半が新聞記事です。音次郎が感じた暑さに興味を持った発端は、ある新聞切り抜きが目にとまったことでした。日誌の中に1917年（大正6）7月2日、3日、21日の全国の気温コラムだけがスクラップされていました。これを見た時に「昔の日本も暑かったのだな」と感じました。

また1933年7月9日の日誌には次のようなスクラップも存在します。

災天下に曝される機会の多い夏は日射病で卒倒する者が相当あります。……（中略）…
…なお脳貧血は衰弱している人、睡眠不足、過労、過度の心配、運動、試験勉強などの場合に起こるものです。これは別に季節物ではありませんが、とにかく夏は暑気のために過労し、身体も弱りますので大へん多くなります。脳貧血を起こしましたら静かに寝ませ、頭を低くし……（後略）（満州日報？ 1933.7.11？ 第9782号）

音次郎も「暑さ」を意識していたのだなと思いました。

③音次郎の養育方針

音次郎が旅順支部を設立した時の要覧が現存していますので、それを引用しながら音次郎の子育てに対する腹づもりを見てみましょう。

▲収容者処遇法

収容者は親子兄弟の処遇をなし純然たる家族の一員とし ^{ことごと} 悉く基督教の信仰により教導す。毎朝礼拝を守り冷水浴及深呼吸等の強壯法を行ひ以て心身の修養をなす……（後略）

心身共に健康に心がけることが謳われています。この後につづく「▲一日の生活」では子供たちの日常生活が紹介されていますが、毎日入浴をさせることも書かれています。近年でさえ児童養護施設では入浴介助をする職員の労力を省く為に子供の入浴が隔日である施設もあります。それを考えると音次郎の取り組みは100年も先駆的でした。

要覧には取り立てて養育方針を記載してはいませんが、冒頭の「純然たる家族の一員とし」の部分にすべての音次郎の愛情が込められているように感じます。

▲沿革

（前略）……不良児の感化方も依託を受け此仕事も兼る事となり、是等幼少年の増加するに従ひ保育衛生上甚数々不便を感じ大正六年関東都督府よりの補助金、恩賜財団よりの下附金、満鉄会社及大連銭鈔公司よりの寄附金等を以て現所在の地に支部家屋を建築……（後略）

ここには「保育衛生上 ^{はなはだ} 甚 数々不便を感じ」との言葉があることから、音次郎にとっては子供たちが健やかに育つ生活環境を常に改善することは「言わずもがな」だったのでしょう。

現存する音次郎の名刺には、肩書きの部分に「財団法人鎌倉保育園理事」、役職名の部分には「^{いし} 醫士」と記されていました。医学的見地から子供たちの健全育成を常に考えていたことは想像に難くないでしょう。医者であった音次郎は保育へと路線変更しました。

④気温測定の実史

日本では1875年（明治8）に気象庁の前身東京気象台が気象観測を開始します。英国人が英国から機器を取り寄せて始めました。1884年（明治17）から天気予報が毎日発表され

るようになり、当時の新聞は紙面が少なかったので欄外に臨機応変に掲載されました。このコラムが1917年の音次郎日誌にスクラップされていました。

日本で正式に気温の単位に摂氏を採用するようになったのは1882年という記録が気象庁に残されています。はじめは英国の機器を使ったので気温は華氏でした。単位を世界的に考えると、1875年にメートル条約が締結され、日本は1885年に加入します。しかし、21世紀の現在でも建築現場では尺貫法（特に長さは1.8m単位を使い続けていますね）が残っているように、戦前の日本では気温の単位も実社会では一般的にずっと華氏で表現していました。ちなみに、音次郎の著書に『結核征伐』（1902年8月26日発行）がありますが医師・佐竹音次郎は本文中では温度の記載に関してはすべて摂氏で統一していました。これには「さすが」と思われます。

1933年7月26日の山形新聞は「歴史的のあつき 華氏105度全国一の高温 測候所でも驚く」と、綴っていました。記事中には正確に「華氏105.5度」とあり、換算すると摂氏40.8度になります。山形は地形の影響でフェーン現象が起きやすく、この日の最高気温はまぐれで発生したのではなく、1962年8月3日に38.8℃、1978年8月2日に38.4℃、1994年8月13日にも38.9℃を記録しています。

旅順も山形と同じ北緯38度に位置します。音次郎が「暑さ甚だし」と言った1933年の夏は全世界的にも暑かったでしょう。

⑤おじいちゃんとしての音次郎

日本で最高気温を観測し、翌日山形新聞で報じられた日の日誌は次の通りです。

七月²⁶廿六日 水 晴 <在旅順 余の常>

{夏期休暇中の小学生の行事を、本日より} 男子は朝起床と午後四時の二回冷浴を為し、其間に復習あり、前後各一時間づつ除草作業を為す事とす。但し本日は午後の作業時間を釣魚に遊ぶ。祖父も釣竿を贖うて御供す。六十年日程にして<初めて>釣を垂れて遊ぶ事をす。

七月²⁷廿七日 晴 <在旅順 余の常>

<昨日と変り祖父も冷浴する機会を恵まれて男女の児童と共に幸を得>

註 <>で囲まれた文字は日誌（新版）には記載がなかった語句。

{ } で囲まれた文字は日誌（原本）には記載がなかった語句。

音次郎の紋付き羽織の写真を肖像としてよく用いますので、それが音次郎の印象となっています。ともすれば堅苦しく、また、内務省の会議において先駆者であった石井十次に真っ向から反論した事、妻を厳しく夜中まで教育した事などから、音次郎には「怖そう」な印象さえあります。しかし、人生で初めて釣りに興じ、その翌日は子供たちと共に泳ぐ69歳の音次郎は好々爺でした。

ひたむきに万人の父となるべく一心で走ってきた音次郎の最晩年に、園庭には辞世の句碑が完成し、そこで幼子と遊ぶ音次郎の姿が映っている写真があります。そこには、穏やかに笑う音次郎の顔を見ることができます。その表情は孫と接する「おじいちゃん」そのものです。

「孤児」ではなく「保育」だと主張して切り開いた児童福祉の道です。音次郎が保育に懸けた情熱は誰よりも熱いものでした。その音次郎は日本一暑かった日に、子供たちといっしょに釣り竿を垂れ、いっしょに泳いでいました。それは、自分の子供を愛する世の親のそれと同じです。しかし音次郎は施設に居る子供に、分け隔てなく同じ愛情を注ぎました。それが「保育の父・佐竹音次郎」なのです。

七月七日
在新京
多事之時、急事、新市、高、一、新、十、人、程、先、以、解、者、
旅館、旭、先、に、介、改、め、も、バ、ス、に、な、り、七、五、指、院、会、所、宣、正

音次郎日誌20 昭和8年(1933)より

金、味 暑気新東京、長

法人 鎌倉保育園旅順支部 (振替 穴連二八六番) (電話 五五四番)

音次郎日誌6 大正6年(1917)より

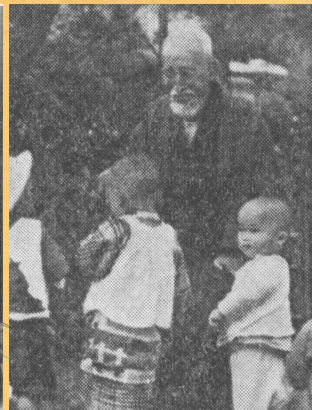
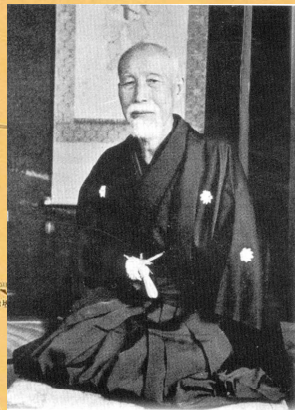
最高温度 (華氏、二月)			
大阪	七十八度六	京都	七十六度三
神戸	七十九度〇	東京	八十度〇
青森	七十六度六	新潟	九十度三
名古屋	七十五度六	金澤	八十一度三
和歌山	八十三度一	岡山	八十六度二
高松	八十六度〇	福岡	八十五度五
別府	八十四度〇	鹿児島	八十七度六
石巻	七十四度二	那覇	九十度五

最高温度 廿一日、華氏			
大阪	八十八度〇	京都	九十四度五
神戸	九十四度一	名古屋	九十二度五
和歌山	八十七度三	高松	八十八度〇
岡山	九十一度四	福岡	八十八度五
別府	八十六度〇	鹿児島	八十八度三
伯耆	八十六度〇	長野	九十二度四
新潟	八十二度九	金澤	八十五度八
福井	八十八度五	青森	八十度六
京城	八十六度四		

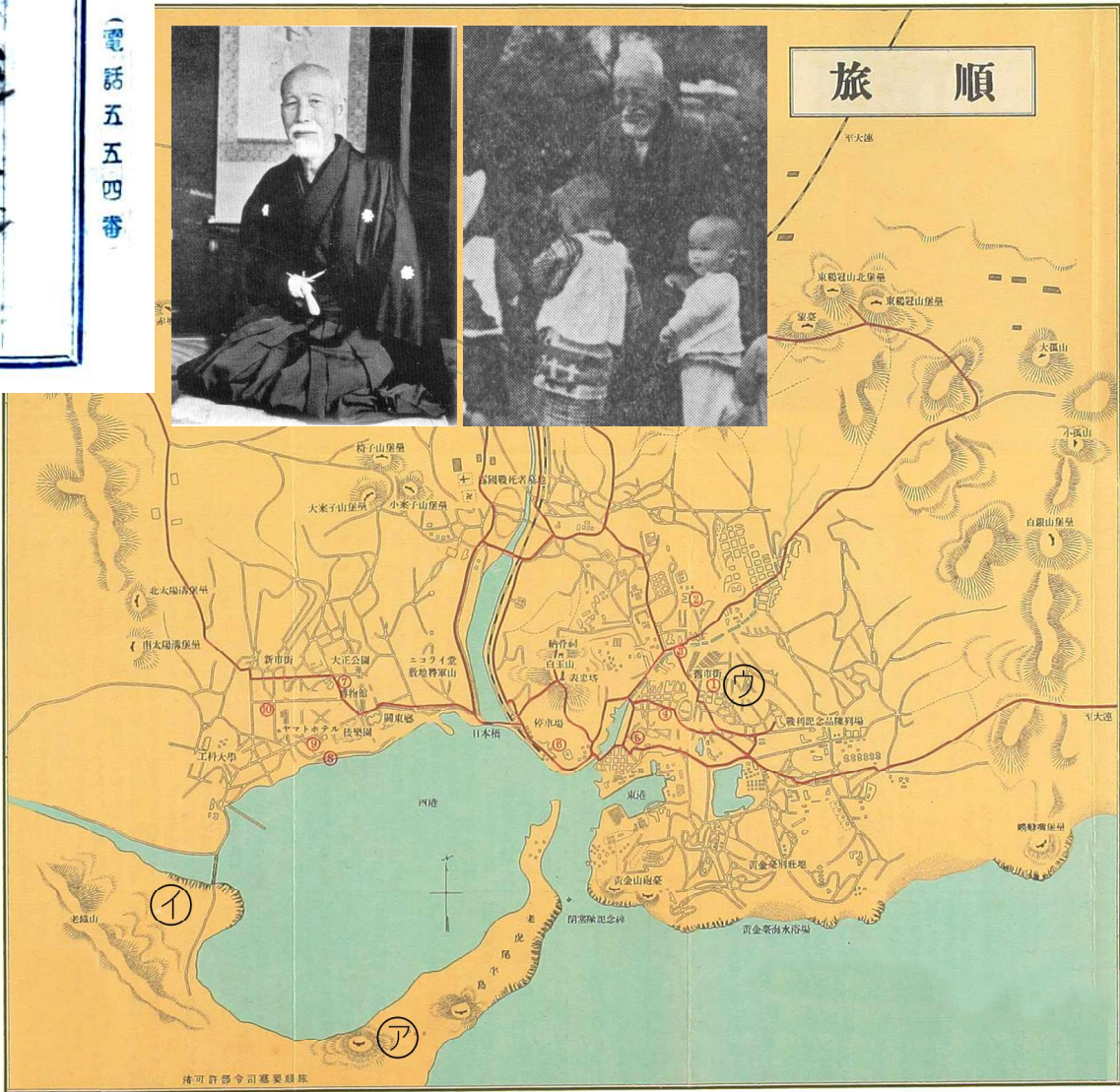
▲各地气温摄氏换算

大阪	31.1℃
京都	34.7℃
神戸	34.5℃
名古屋	33.6℃
和歌山	30.7℃
高松	31.1℃
岡山	33.0℃
福岡	31.4℃
	1917.7.21

最高温度 (華氏、三月)			
大阪	八十四度九	京都	八十七度三
神戸	八十五度五	東京	八十四度〇
青森	七十二度一	新潟	八十一度三
長野	七十八度二	名古屋	八十八度〇
和歌山	八十四度二	高松	八十三度〇
岡山	八十六度五	伯耆	八十四度六
金澤	七十八度二	福岡	八十四度九
大分	八十七度〇	鹿児島	八十七度六
那覇	八十九度一	元山	七十九度七
京城	七十九度五		
奉天	八十六度九	大連	八十二度九



旅順



『聖愛一路』に登場する旅順の地名とその位置 ▶

- ア 田家屯
- イ 方家屯
- ウ 旭川町

(南満州鉄道株式会社パンフレット「旅順」より)